

韓国慶南科学高校生とのオンライン発表交流会

1月27日(木)に本校2年生と韓国慶南科学高校生とのオンライン発表交流会が実施されました。この発表交流会は「①研究内容や自分の考えを英語で論理的に述べる能力を育成すること、②韓国の高校生と文化的な交流を英語で行ったり、それを聞いたりすることにより、国際的な視野を養う」という2点を目的としています。

発表交流会では最初に文化交流を行いました。文化交流ではお互いの学校紹介の動画を視聴し、次に日本と韓国の文化をお互いに紹介しました。その後、2会場に分かれて各校代表者による研究発表交流を行いました。この日に向けて発表練習を行ってきた普通科と理数科の生徒が堂々と英語で研究発表を行いました。文化交流や発表を行った生徒以外の2年生から質問を行い、理数科1年生が見学し、学年、言語、国境の垣根を越えた交流に参加することができました。

事後に行ったアンケートでは、韓国の生徒の英語力の高さに多くの生徒が感嘆を感じていました。特に質疑応答の際、聴き取った英語に臨機応変に英語で返答できることに対して、自分たちとの違いを感じていたようです。一方で、言葉が通じ上手く交流ができたことに対して喜びを感じた生徒や、文化交流がとても楽しかったと答えた生徒も多くいました。iコンピテンシーの「Ⅲコミュニケーション能力」については約85%、また「Ⅴ垣根を越える力」については約90%の生徒が向上したと回答していました。Ⅲについては、英語でやり取りを行うことについて、発表者だけでなく聞いていた生徒も真剣に内容を理解しようとした結果だと考えられ、Ⅴについては、普段海外の高校生と交流する機会などはめったになく、非常に刺激的な経験となったためだと考えられます。また、発表会に関わった生徒にとっては、特に入念な準備が求められたためこの力の伸長を感じられたと思います。

オンライン発表交流会に参加した多くの生徒が、英語が使えることの意義を感じていることがわかりました。この経験をもとに、普段からリスニングやスピーキングの能力を伸ばすことを意識して英語力を伸ばしてほしいと思います。

